

サポートルーム通信

令和8年 3月吉日 No.6

馬込第三小 拠点校校長

馬込小 巡回校校長

池雪小 巡回校校長

拠点校校長より

拠点校 馬込第三小学校長

日頃よりサポートルームの教育活動に御理解と御協力をいただき、ありがとうございます。3月中旬には今年度の指導が終了し、個人面談の期間となります。面談では、今年度の振り返りとともに来年度の指導の方向性についてお話しさせていただきます。進級や進学に際して、新しい環境に適應できるか不安を抱えているお子さんもいるかもしれません。お子さんが安心して新年度を迎えられるよう、引き続き丁寧に支援してまいります。

さて、今年度は3校の校長で相談し、初めての試みとして「教室公開」を実施し、個別指導の様子を御覧いただく機会を設けました。日頃の学習内容やお子さんの様子は連絡帳ファイルでもお伝えしていますが、実際の学習場面を御覧いただくことで、家庭での話題づくりや、お子さんの頑張りを褒めるきっかけになれば幸いです。また、本通信の「こんな学習をしています」コーナーなどで紹介している活動の中には、トランプ遊びなど、保護者の方にも懐かしく、家でも楽しめるものがあります。ぜひ日々のコミュニケーションの一つとして御活用ください。これからも保護者の皆様と連携しながら、一人一人の教育的ニーズに応じた学びの場を充実させ、特別支援教育の質を高めていけるよう取り組んでまいります。

<サポートルーム行事予定表>

	3学期サポートルーム終了	来年度のサポートルーム指導開始予定
馬込第三小学校	3月16日(月)	4月13日(月)
馬込小学校	3月13日(金)	4月14日(火)
池雪小学校	3月13日(金)	4月14日(火)

※来年度のサポートルームの指導開始予定日は、変更の場合もあるので御承知おきください。4月からの指導曜日、時間については、4月に担当者から電話をさせていただきます。

<こんな学習をしています> ~ 感覚統合運動 ~



トランポリンの上にバランスボールを置き、その上に座って300回跳びます。教師は後ろから肩を上から下へ軽く押します。一緒に数えることや、時間を計りながら(5分で約300回跳べます)しりとりなどを行うことで楽しく行えるようにしています。感覚統合運動を行うことで、身体をスムーズに動かすことや、感情を安定させて行動することが可能になります。

感覚とは、体のさまざまなセンサー(受容器)から入ってきた刺激を、脳で情報として受け止めることです。たとえば聴覚では、耳から音の刺激を受けます。脳がその情報を受け止めて処理し、次の行動につなげていきます。感覚情報の処理に混乱があるときには、その子の感覚面に配慮した個別のアプローチが必要です。手先の器用さには、触覚(皮膚で物を触れる時に働いている感覚)・固有覚(筋肉や関節の動きを感じ取る感覚)・前庭覚(バランス感覚)が関わっています。

参考文献:「発達障害の子の指遊び 手遊び 腕遊び」監修 木村 順 講談社

1年間、ありがとうございました

保護者の皆様には、1年間を通して、サポートルームの教育活動に御協力をいただき、ありがとうございました。来年度も、どうぞよろしく願いいたします。